



南青葉だより 陽だまり

第2号 発行日：2021年3月1日 発行者：南青葉台自治会長 古谷 桂子

令和2年度を振り返って

私が昨年4月に会長を引受けてから、あっという間の1年でした。自治会の役員の皆様、各種ボランティア団体の皆様、そして何よりも、南青葉台自治会会員の皆様からの温かいお言葉に励まされ、十分と言えないながらも務めてこられたと深く感謝しております。厚くお礼申し上げます。

本年度の自治会活動を振り返ってみますと、

- ① 皆様からお預かりした自治会費をどういう形で皆様に還元するか、そのためには無駄を省き、有効活用するため、錆付いていた自治会館フェンスの塗装を業者に頼まず、自治会役員で約半額で取替えたり、班長さんに自治会費3,000円返金にご協力頂き、振込手数料の節約等を行いました。関係者、班長の皆様のご協力ありがとうございました。
- ② 高齢化が進み班長を受けたくないとの声も有り、出来るだけ負担を減らすために自治会規約を改正し、事務局を新設して、無理なく役員や委員会・班長の業務ができる体制を作りました。年々高齢化が進むのは目に見えており、今後は高齢単身者の増加も懸念されます。
- ③ 今年の1月から本自治会だよりを発行しました。自治会だよりを通じて、会員の皆様とのコミュニケーションを高めていき、地域のニュース、活動などの報告やいろいろな情報の発信をして参ります。

コロナ禍で、ゆっくりと皆様のお声に耳を傾ける機会もなく残念でしたが、それでも折に触れ、貴重なご意見も賜りました。今後に生かして参ります。

昔から遠くの親戚より近くの他人と言いますように、誰もがお互い助け合い、仲良く安心して住める優しい街を、目指すべきと考えます。今まで以上に、自治会の皆様の温かいご支援・ご協力をお願いして、振り返りの挨拶とさせていただきます。



2021年 3月
南青葉台自治会長 古谷 桂子

犬のお散歩マナーについて

①散歩の時は必ずリードを着ける

愛犬を散歩させる時は、必ずリードを着けましょう。

②リードは短めに持って歩く

長くしていると他の人に絡まったり、自転車が引っ掛かってしまうこともあります。

③跳びつかせない、吠えさせない

犬が苦手な人なら恐怖を感じますし、好きな人でも衣服を汚したり、怪我をさせてしまうことがあります

④排泄したら必ず後始末をする

他人の住居の前にある電柱などで排尿させることは、マナー違反です。愛犬の排尿は、道路脇にある側溝や排水溝周辺でさせた後で、持参した水で洗い流すといった気配りをお願いします。



自治会だよりの愛称が決定しました！

創刊号で本たよりの愛称を募集したところ、48軒の方々から131案の応募がありました。役員会で候補を5つに絞り込み、1月26日の回覧で、投票して頂いた結果、伊輪様の案である「南青葉だより『陽だまり』」に決定しました。伊輪様によると、南青葉台地区の、年中、陽があたって暖かく、穏やかなイメージから愛称を考えて頂いたとのことでした。たくさんのご応募、またご協力ありがとうございました。

南青葉台自治会の活動状況と予定

1月10日	定例役員会
2月14日	令和3年度班長会議 令和3年度役員選出会議 定例役員会
3月14日	定例役員会（予定）
4月11日	定例役員会（予定）
5月ごろ	共同募金（予定）



一時停止に注意！



フルール前の写真の交差点は、北青葉台側が「一時停止」です。南青葉台側が死角になる交差点ですので、確実に一時停止のうえ、慎重に通行をお願いします。

編集後記

本号から名称が、南青葉だより「陽だまり」に変わりますが、今後も皆様のお役に立ち、発行を楽しみにして頂けるようにしていきたいと思っております。こんな人・物を載せて欲しい、サークル・クラブ活動の募集に関する事を載せたいというご要望があれば、ご遠慮なく自治会役員まで連絡ください。

加賀田地区の民話 第2話

創刊号では、お正月に発行と言うこともあり、いきなり語り話をご紹介しましたが、今回からは、数回にわたり、加賀田についてご紹介したいと思います。

加賀田地区は、市の南部に位置する地域で、最も開発の進んだ地域の一つであり、大矢船・南ヶ丘・南青葉台、北青葉台の団地があり、いわゆるベッドタウンです。

そのために、一見して、この地域は昔の面影を残していないように見受けられますが、加賀田地区は、広い。すみずみまで道筋をたどり、谷間に分け入って歩いてみると、今でも閑静な村のたたずまいをも、見出すことができます。人家を訪れて、多くの方々とお話をしてみると、人々が長い間、自然と深くかかわって暮らしてこられたことがわかります。

このような地域の人々によって継承され、語り伝えられてきた、多くの伝承は、私たちが住む新たな町の歴史の土台ともいえるべきものになるのでしょうか。千古の人々の息づかいに心を傾け、地域に根ざして今の暮らしに、役立てましょう。

平成4年刊行「加賀田地区の民話」市教育委員会発行より要約

南海バス株から利用に関する案内がありました

南青葉台地区には、昭和50年から地域の足として南海バス株が運行しており、高齢化が進み、運転免許証を返納したあとは、唯一の公共交通機関となります。

一部では、非常に便利な「フリー乗降制度」が導入されていますが、新型コロナの影響もあり、バスの利用者が年々減少しているのが現状です。



今後も高齢化が進む当地域の「足」としてなんとか運行を存続するために、南海バス株に対する意見・要望（例えば路線の拡充等）がありましたら、自治会で取り纏めのうえ申し入れしますので、ぜひ、自治会役員までお伝えください。

年末の一斉清掃、歳末夜警を行いました

12月13日に年末の一斉清掃、12月28日には歳末夜警を行いました。

いずれも新型コロナの感染拡大が懸念されるため、例年に比べると最小限の活動となりましたが、ご協力頂きました住民の皆様、防災委員の皆様ありがとうございました。

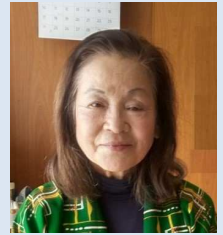


～ 青葉台のお宝さん ① ～

南青葉台地区には、素晴らしい人物や場所、風景、物が多くありますので、今後、このコーナーでご紹介していきたいと思います。今回は美術家の平山先生です。

美術家 平山 靖子 氏

(人物紹介) 河内長野市美術協会会員として、美術展には上海の裏町、絵画展には人物、文化祭には静物と各モチーフを決めて出品。モットーは「自己の感性を磨く努力」



会長と2人で訪れた平山先生のお宅の門の正面には、野趣あふれるオブジェクトが飾られ、先生のお人柄を、想像しつつ案内を請いました。

差し込む陽光と、用意して頂いた暖かいお部屋でお話が弾み、気が付けば一時間もたっていました。

Q : 画家の道に、入られたきっかけは、何だったのでしょうか？

平山先生：子供の頃から好きで、父の転勤で住んでいた北九州市で福岡教育大学美術科に進みました。卒業後は中学校の教師をしていましたが、結婚して主人の転勤でやめることになりました。

南青葉台では創作活動のかたわら、絵画やお煎茶も教えていました。

Q : 画家の道を続けてこられて、心に残る作品や出来事はございますか？

平山先生：40歳から50歳の間に描けない時期がありまして、その時に煎茶の家元が催された旅行に参加し、中国の江南地方の上海、北京、西安、南京などを廻りました。その後も何回か中国を廻るうちに、現地にお住いの日本の方や、中国の方ともお友達になり、観光旅行では行けない生活感あふれる裏町（上海では里弄リーロン）にひかれ、2002年、中国親友の支援を受け上海で個展「上海里弄展」を開催することができました。大学では、油絵をやっていましたが、その後水彩画の魅力に取りつかれ、現在は水彩画一本でやっています。

Q : 今後の活動予定を教えてくださいませんか？

平山先生：コロナの状況をみて、いずれ河内長野駅近くの酒蔵通りの「カフェギャラリーほたる^{*}」で、個展を開く予定です。その時は、「ほたる」をバラで埋め尽くそう、と思っています。 ※カフェギャラリーほたる 河内長野市長野町9-13 0721-52-2613

